

IE5対応高効率モーター

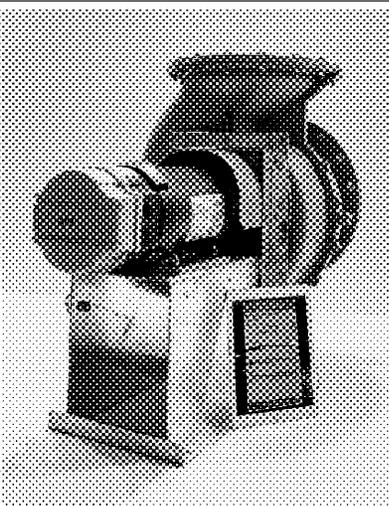
産機の脱炭素化 後押し

ABB、国内本格販売

スイスのABBは省エネ効果の高いインバーター一体型の高効率モーター「EC タイタニウム」の国内販売を本格化する。このほかに、産業機械専門商社の南出キカイ（大阪市西区）を通じて産業装置メーカー4社への採用が決定。各社のカーボンニュートラル（温室効果ガス排出量実質ゼロ）に対応する新製品開発を後押しする。加えて、省エネ性能確認などの製品開発支援にも取り組むことで、2025年に1000台、30年に5000台の販売を目指す。

EC タイタニウム エネルギー効率を發揮 一定の効率規格の最高レベルである「IE5」はABBの米アカン する同期リラクタンス 技術と永久磁石技術をソ州の工場で21年に 組み合わせたローター インバーター一体型開発したもので、出力 構造により、国際電気が特徴で、インバーターをそろえる。高い 標準会議（IEC）規 制に慣れない

セイコー化工機が開発したABBのIE5モーター搭載のファン



国内ユーザーと連携して長期間の稼働試験支援などに積極的に取り組んでいる。今回事業本部を採 用したのは、アンレッ ト（愛知県蟹江町）、セイコー化工機（兵庫 県明石市）、阪和化工 機（大阪市東淀川区）、古河産機システムズ（東京都千代田区）で、いずれも同モーター搭 載の新製品開発を進め ている。それぞれ稼働 試験を経てIE5搭載

のポンプやファン、攪拌機などの早期製品化を目指す。

ABBはIE5対応モーターでは永久磁石不使用のタイプも従来から販売している。

日本の産業機器業界はコスト低減要請が最も高かったが、「エネルギー価格の高騰とカーボンニュートラル対応製品開発が必須となる中で、省エネ効果の高い高付加価値製品が求められるタイミング」（ABBモーション事業本部）とし、IE5レベルの普及を急ぐ。